

ジャーナリズム実習

科目ナンバリング SOC-206

選択 2単位

潮田 道夫

1. 授業の概要(ねらい)

新聞記者に必要な技術・ノウハウを学ぶ。そのときどきの新聞に掲載されている「報道記事」「解説」「社説」「1面下コラム(天声人語、余録など)」「投書」のほか、「ニュースリリース」「広告」「記者会見ビデオ」「政府資料」などが教材。授業では、見出しをつけ、各種記事を書き、記事を要約するなどして、新聞社の取材記者、整理(編集)記者のスキルを学ぶ。また記事作成・編集技術にとどまらず、取材手法、取材の心構えなどについても、新聞社で行われている記者教育を教授する。

2. 授業の到達目標

「取材する」「文章を作成する」は記者にとどまらず、社会人ならだれもが要求される実務である。一般企業で通用する実践的取材力、文章力をめざす。

3. 成績評価の方法および基準

適宜実施する作文やレポートで総合的に評価する。

4. 教科書・参考文献

教科書

授業で適宜紹介する。

5. 準備学修の内容

新聞をよくよむこと。

6. その他履修上の注意事項

欠席せずに授業の課題をこなしていこう。

7. 授業内容

- | | |
|--------|--------------------|
| 【第1回】 | オリエンテーション、見出し |
| 【第2回】 | インデックス |
| 【第3回】 | 校正と校閲 |
| 【第4回】 | 投書 |
| 【第5回】 | 広告ポスター1 |
| 【第6回】 | 広告ポスター2 |
| 【第7回】 | 広告ポスター3 |
| 【第8回】 | 毎日vs朝日論争(金融危機) |
| 【第9回】 | 週刊誌の取材と編集の実際(外部講師) |
| 【第10回】 | 社説の実例 |
| 【第11回】 | 記者会見と原稿 |
| 【第12回】 | 裁判員裁判 |
| 【第13回】 | 言葉で騙す技術 |
| 【第14回】 | ジャーナリストとは |
| 【第15回】 | まとめ |